

移動市役所議事録【土々呂中学校区(8月9日(木)開催 第1部)】

質 問	市長の回答	対応状況
<p>【県道 224 号の拡幅整備】</p> <p>市議会においても質問に挙げたが、「土地の収用ができない」という返答だった。2020年に土地収用法が変わるとい話もでている。延岡市、門川町、宮崎県の3者合同で拡幅整備研究会を立ち上げ、県道 224 号の拡幅整備をなんとかしてもらいたい。</p>	<p>遠見半島は大学誘致も検討された大事な地区だが、アクセスが悪いままになっている。土々呂海水浴場の水質改善やブリ大尺の屋敷の改修等、かつての土々呂が蘇る材料が増えてきている。県道の整備についてより推進力をつけていくには、地域に再び光を当てて、たくさんの人に来ていただき、みんなが潤うようなプランを描き、「優先的に整備することによって新たな循環が生まれる」等といった材料を持って県を説得していく必要がある。</p>	<p>この路線の課題を解決するためには、県道移管が必要であると考えられ、現在移管に向けて登記事務を鋭意行っており、平成 30 年度は 16 筆の登記を完了させました。拡幅整備については、県事業として取組んで欲しい旨、県へ重ねて要望を行っています。今後も引き続き、県道移管に向けて取り組んでまいります。</p>
<p>【行政からの要請による地域への負担】</p> <p>草刈や地域福祉など、行政からの要請に応えようとしているが、高齢化により限界を迎えようとしている。ただ地域に「やって下さい」ではなく、ボランティア活動の本当のあり方を考え、人材やお金の面でも配慮していただきたい。</p>	<p>市と地域が役割分担をしていく中で、地域が過度な負担をすることは解消していかなければならない。まず、健康づくりや介護予防事業について整理していき、草刈りや清掃等についても順次解消していきたい。また、毎年5年以上継続している事業の点検作業を行っているが、来年度以降はその他の事業の総点検に併せて、地域の負担を拾い上げていき、市と地域との適正な役割分担を確立していきたい。</p>	<p>平成 31 年度予算では、道路、公園等の維持管理費を増額し、これまでよりも良好な管理ができるように努めております。</p> <p>ただ、それでもなお市民の皆様のお力なくしては十分な維持管理やサービス提供等にはできない現実がありますので、今後も皆様のご意見をお聞きしながら市としての対応について検討してまいります。</p>
<p>【市議会議員のスキルアップ】</p> <p>議会の議事録を見ていると、議員は資料不足、調査不足の印象を受ける。議員にしっかり勉強してもらうため、議員活動費も考えてほしい。議会の事なので、市長にお答えいただく必要はない。</p>		

移動市役所議事録【土々呂中学校区(8月9日(木)開催 第1部)

<p>【消防庁舎について】</p> <p>石田町消防庁舎建設にあたり、危機管理室から防災行政無線設置場所の調査依頼を受けた。付近一帯をカバーできる庁舎だと考えているので、拡声器などは分散せずにまとめて設置する事も検討してもらいたい。</p>	<p>拡声器は一通り防災行政無線と連動している。まずは津波の心配のあるところから先に整備しているが、数が足りない状況である。予算との兼合いだが、整備のペースを早められないか検討している。市民の皆様にご正確に迅速に伝えるにはどのような方法がいいかについても検討していきたい。</p>	<p>防災行政無線の拡声子局の設置につきましては、津波の浸水想定区域をカバーするように設置しており、その設置場所の検討につきましては、区長等に相談しながら音響到達調査を勘案した上で行ってまいります。</p> <p>平成 31 年 1 月に、石田町の消防庁舎建設敷地に隣接している公園に拡声子局を設置しておりますが、拡声子局に設置されている屋外スピーカーは、一般的に 1 基で 500m をカバーする機能となっており、消防庁舎建設敷地に隣接している公園の拡声子局のみでは、石田地区をはじめとした土々呂中学校校区内全てのエリアをカバーすることが出来ないため、別途設置したところです。</p>
<p>【医師不足について】</p> <p>市に推進室があるが、積極的には動いておらず、県北の医師不足は解消されないのではないかと感じる。</p>	<p>従来から開業に対して補助金等の支援を行ってきたが一向に解消しない。6 月補正で勤務医や若い医師がどういった条件をクリアすれば本市で仕事をできるのか調査する事業が可決された。現在、医師の立場も掘り下げていける調査の実行に向けて、様々な組み立てをしているところ。</p>	<p>平成 30 年度の調査結果を活かし、今後さらに医師誘致に全力で取り組んでまいります。また、特に不足が指摘される小児科等について、延岡駅西口に(株)まちづくり延岡が整備を進めている再開発ビルへの誘致にも取り組んでまいります。</p>

移動市役所議事録【土々呂中学校区(8月9日(木)開催 第1部)

<p>【耕作放棄地について】 伊形地区にもここ10～20年で耕作放棄地が増えてきている。JAと市が農地の生産性が上がっていく工夫をしていく配慮が必要。特に北方町、北浦町、北川町の延岡市近郊地はそうだと思う。</p>	<p>JAの活動だった「GO!GO!テン運動(経費を-5%、売り上げを+5%、合計で所得を+10%)」を今年からは市の政策目標にも掲げ、JAとプランを作り始めている。田んぼを守るには米より飼料用米を生産するのが現実的である。県北市町村の中で弱いと言われていた牛の頭数の増加や維持対策に対し県北一となるよう応援し、それが相乗効果として稲作農家への応援にもつながると考えている。</p>	<p>現在、所得アップ10%を目指したアクションプラン案をまとめたところであり、今後農家の方々のご意見をいただきながら成案をまとめ、それに基づき①売り上げの増加、②コストの縮減、③販路拡大も含めた流通体制の整備の三点についてJA延岡や農家の方々と力を合わせて取り組んでまいります。</p> <p>【農業畜産課】 ○「農家所得アップ実証事業」【新規】 (H31年度予算：2,908千円)</p>
<p>【空き地活用について】 人口減少で空き地が増えてきている。一覧表のような形で把握し、移住者を呼ぶような働きかけがあってもよいのは。</p>	<p>移住者への中古住宅リフォーム支援については、既にやっており、もっと利用してもらえよう、使いやすい中古住宅を増やしながらか移住者へつなげていきたい。今までの実績を土台として、ある物を活用していきたい。</p>	<p>どのような取組みが適切か、引き続き検討してまいります。</p>
<p>【糖尿病対策について】 糖尿病になり透析を始めると一人700万円かかると聞いているので、ここにしっかり手を打たなければと思っている。</p>	<p>健康長寿日本一を目指し、健康マイレージ事業の実施を検討中。健康長寿ポイントのような抽選ではなく、健康に良いメニューを提供している飲食店があればマイレージを使って割引を受けられるようなことを広げていきたい。医療費の負担がなくなれば財政負担も減り、まちづくりにもプラスになる。人生を謳歌できるような健康づくり事業に取り組んでいきたい。</p>	<p>平成31年度から健康マイレージ実証事業を行い、現役世代も含めて健康づくりにさらに取り組んでまいります。また、昨年11月に金堂ヶ池周辺と須美江地区にクアオルト健康ウォーキングのコースとして「クアの道」が太陽生命保険から認定されたことから、歩くことをキーワードとした健康長寿のまちづくりにも取り組んでまいります。</p> <p>【健康長寿のまちづくり課】○「健康マイレージ実証事業」【新規】(H31年度予算：2,500千円)</p>

移動市役所議事録【土々呂中学校区(8月9日(木)開催 第1部)

<p>【エンクロスへの提案】</p> <p>エンクロスを永続化していくために2つの提案をする。</p> <p>①延岡の市政や市長の視察・公務等が分かる掲示板を設置し、新しい延岡づくりを進める経過知ってもらい、市政や市長に親しみをもってもらう。</p> <p>②各年代の標語を募集し、市民や市街、県外の皆様に延岡の発展の意思表示をする。</p>	<p>エンクロス自体が毎年1億3,500万円かかることが建物完成前に明らかになったことが非常に問題。今後建物を作る時は、予め市民の皆様のご意見をお聞きする期間を設け、次のステップに進んでいくような箱物づくりを考えている。エンクロスは順番が逆なので、現在は実証実験とし、毎年費用対効果を検証し、絶えず見直しをしていく必要がある。</p> <p>また、施設に市民への情報があるというのはとても大事なこと。インターネット等もあるが、実際に見て触ってという手段は大切なこと。市民の皆様が関心のあるものを発信していく必要があると考える。標語の提案については、市民の皆様がより関心を持ち空間を活用していく参加型の代表的な事例として受け止める。</p>	<p>駅前複合施設については、定期的な市政情報の発信の場として、また、市民の皆様の見解交換・情報交換の場としての活用を念頭に置きながら整備を進めてきました。</p> <p>現在、エンクロスでは、改札口や施設の出入口付近等にデジタルサイネージ（電子掲示板）を設置し、市政に関するものも含め、様々な情報を発信しているほか、市がパブリックコメントを実施する際の資料をはじめ、市政に関する各種情報媒体を設置するなど、市民の皆様への情報提供の場として活用しています。</p> <p>今後も、市政に関する情報や市民の皆様への「ふるさと延岡」への想いを発信していく場として、エンクロスをより効果的に活用する手法等について、さらに検討を行ってまいります。</p>
<p>【道路維持管理について】</p> <p>伊形町、一ヶ岡、上伊形町の道路の白線が消えているので直してほしい。</p>	<p>暗闇で白線が見えないと非常に危険。道路は、国・県・市と管理が分かれているので、県がやる場所については、市として県に意見を言っていく必要がある。全てとなると予算的に厳しいので、事故の起きやすい場等、優先順位を決めて固めていく必要がある。</p>	<p>道路の区画線が摩耗により消えかかっている路線が多数あることは認識しており、引き直しが必要であると考えております。市内には同様な箇所が非常に多くありますが、交通安全施設の整備に関する予算には限りがあるため、緊急性を考慮し優先順位を決めて年次的に整備を行ってまいります。</p> <p>【土木課】</p> <p>○「道路維持補修事業」【拡充・増額】</p> <p>(H31年度予算：215,148千円)</p>

移動市役所議事録【土々呂中学校区(8月9日(木)開催 第1部)】

<p>【延岡南道路について】</p> <p>①延岡南道路の利用料金を安くするのではなく、思い切って一カ月くらいタダにして、大型車の通行状況をみてはどうか。</p> <p>②住んでいる人間としては、大型車が通ると生きた心地がしない。</p>	<p>大型車の値下げ時期は延岡 I C に専用の機械を設置する関係で今すぐではなく、2年以内になる予定である。大型車の値下げの次は普通乗用車、軽自動車の値下げだと考えている。これを足がかりにしていきたい。迂回路の整備などで、地元の地権者にはご理解、ご協力をいただきたい。</p> <p>今回の値下げで解消しなかった課題については、今後働きかけていきたいが、今回の値下げを確実にしていくことが市民の皆様にとって現実的にプラスと考えその道筋を示していくことが私の責務である。</p>	<p>今回決まった延岡南道路の料金引き下げをまず確実に実現するよう努めてまいりますとともに、地域の交通状況を常に注視し、渋滞解消や安全確保のために取り組むべきことは何か、さらに検討してまいります。</p>
---	---	--